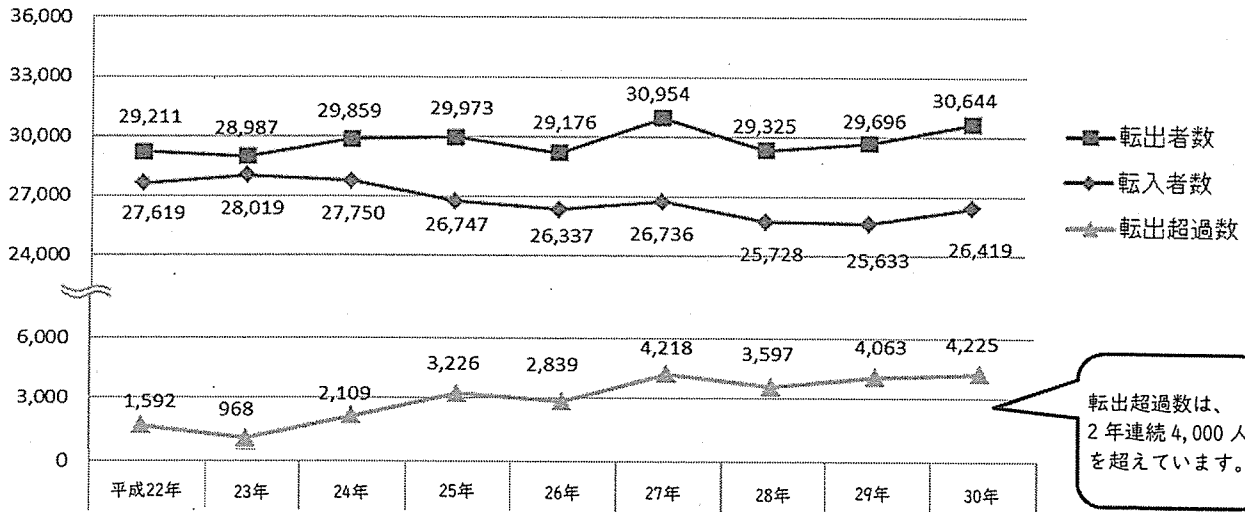


数字で見る三重県の若者の動き

1 三重県の転出入者数の現状

(1) 転出超過数、転入者数、転出者数の推移

平成30年の住民基本台帳人口移動報告によると、転出超過数は4,225人で、平成29年の転出超過数4,063人より162人増加しました。平成30年の転入者数は26,419人と平成27年以来26,000人を超え、また、転出者数は30,644人となり、平成27年以来30,000人を超えました。



転出超過数は、
2年連続4,000人
を超えています。

(2) 年齢階層別転入超過数の推移

三重県において、就職や進学に伴う15～29歳の若者の転出超過は全体の転出の約8割を占め、毎年転出超過の大きな要因の一つとなっています。 ※マイナスは転出超過を示す。

転入超過数	平成22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
総数	-1,592	-968	-2,109	-3,226	-2,839	-4,218	-3,597	-4,063	-4,225
0～4歳	218	284	304	-11	191	64	104	-117	58
5～9	16	53	59	-39	-31	-52	-43	-71	-180
10～14	-28	74	-40	14	-91	-61	-96	-71	-111
年少人口計	206	411	323	-36	69	-49	-35	-259	-233
15～19	-759	-651	-818	-693	-690	-774	-904	-977	-952
20～24	-1,162	-1,146	-1,571	-1,445	-1,434	-1,702	-1,648	-1,699	-1,543
25～29	-203	-230	-552	-795	-536	-868	-609	-711	-692
若者計	-2,124	-2,027	-2,941	-2,933	-2,660	-3,344	-3,161	-3,387	-3,187
30～34	108	265	141	-113	-116	-263	-116	-186	-243
35～39	56	258	168	-22	-29	-246	-93	-5	-155
40～44	-67	60	174	14	86	27	-105	-124	-55
45～49	-4	-28	-6	21	-48	-150	22	-95	-120
50～54	25	16	55	-88	-97	-127	-41	-37	-77
55～59	123	83	-9	-49	3	40	-16	51	13
60～64	171	138	107	79	41	33	-43	51	-9
30～64歳人口	412	792	630	-158	-160	-686	-392	-345	-646
生産年齢人口	-1,712	-1,235	-2,311	-3,091	-2,820	-4,030	-3,553	-3,732	-3,833
65～69	-13	44	77	42	47	49	47	17	36
70～74	8	-36	-41	-18	-9	-24	34	-25	-26
75～79	-21	-67	-70	-38	-39	-43	-20	-43	-32
80～84	-25	-44	-79	-41	-61	-44	-29	5	-38
85～89	-14	-27	-10	-49	-16	-50	-32	-8	-67
90歳以上	-18	-14	3	5	-10	-27	-9	-18	-32
高齢者人口	-83	-144	-120	-99	-88	-139	-9	-72	-159

※生産年齢人口：15～64歳の合計

※総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」から作成

転出超過に占める若者の割合

	平成22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
割合	133.4%	209.4%	139.4%	90.9%	93.7%	79.3%	87.9%	83.4%	75.4%

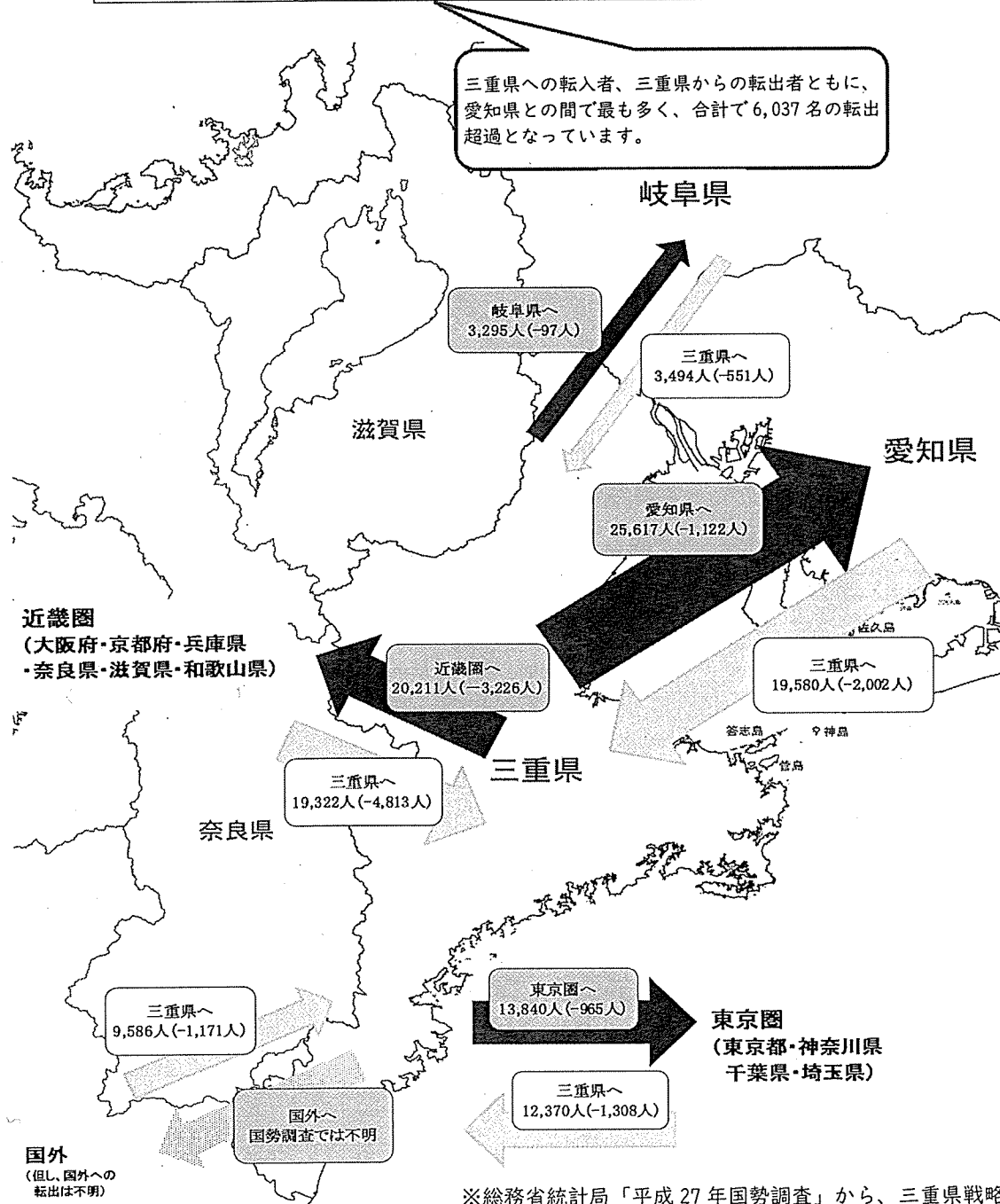
若者の転出超過は全体の約8割

(3) 三重県と近隣府県、東京圏、近畿圏における転入者数、転出者数

平成 27 年国勢調査における「5 年前の常住地調査」から人口移動の状況を見ると、転入者、転出者とも愛知県との間で最も多く、合計で 6,037 人の転出超過となっています。東京圏・近畿圏との間では、それぞれ 1,470 人、889 人の転出超過となっています。

(単位：人)

	愛知県	岐阜県	東京圏	近畿圏	国外
三重県へ（転入）	19,580	3,494	12,370	19,322	9,586
三重県から（転出）	25,617	3,295	13,840	20,211	-
転入－転出	△6,037	199	△1,470	△889	-



※総務省統計局「平成 27 年国勢調査」から、三重県戦略企画部統計課作成
() 内の数値は、平成 22 年調査との差

(4) 通勤者からみる県外との関係（通勤者数 1,000 人以上）

三重県内から近隣府県への通勤者数は、愛知県が最大となっています。

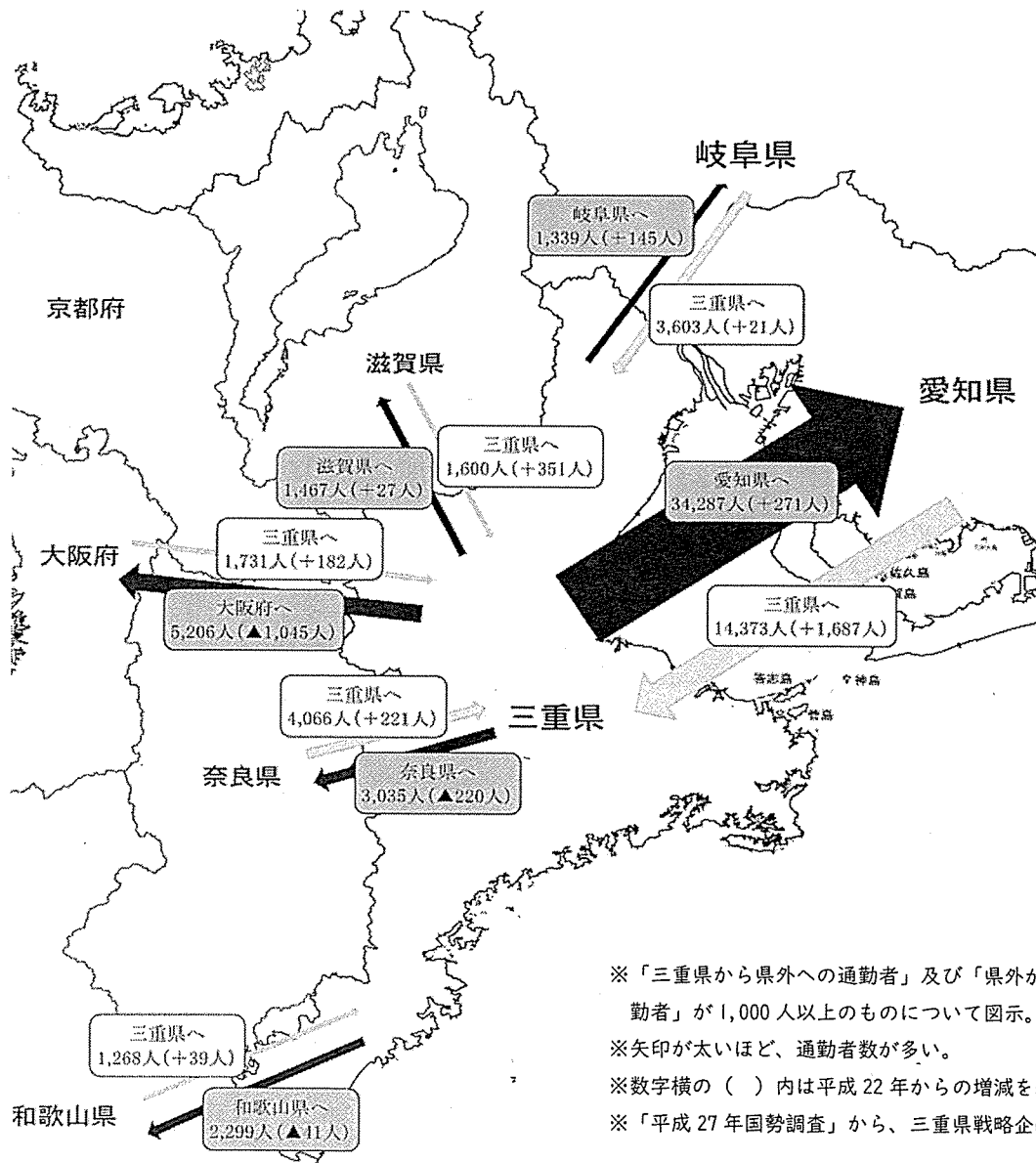
(単位：人)

	愛知県	岐阜県	滋賀県	大阪府	奈良県	和歌山県	全体
三重県へ（転入）	14,373	3,603	1,600	1,731	4,066	1,268	31,066
三重県から（転出）	34,287	1,339	1,467	5,206	3,035	2,299	51,029
流入—流出	△19,914	2,264	133	△3,475	1,031	△1,031	△19,963

全体では、県外への通勤者（流出：51,029人）が、県内への通勤者（流入：31,066人）を19,963人上回っています。

平成22年調査時との比較では、流出0.8%増、流入16.0%増と、流入の伸び率が上回っており、流出超過（23,848人→19,963人）は、約4,000人の減となっています。

特に、大阪府、奈良県、和歌山県との関係では、流出が減少し、かつ流入が増加しています。愛知県との関係では、流出の増（271人）に比べ流入の大幅増（1,687人）となっています。



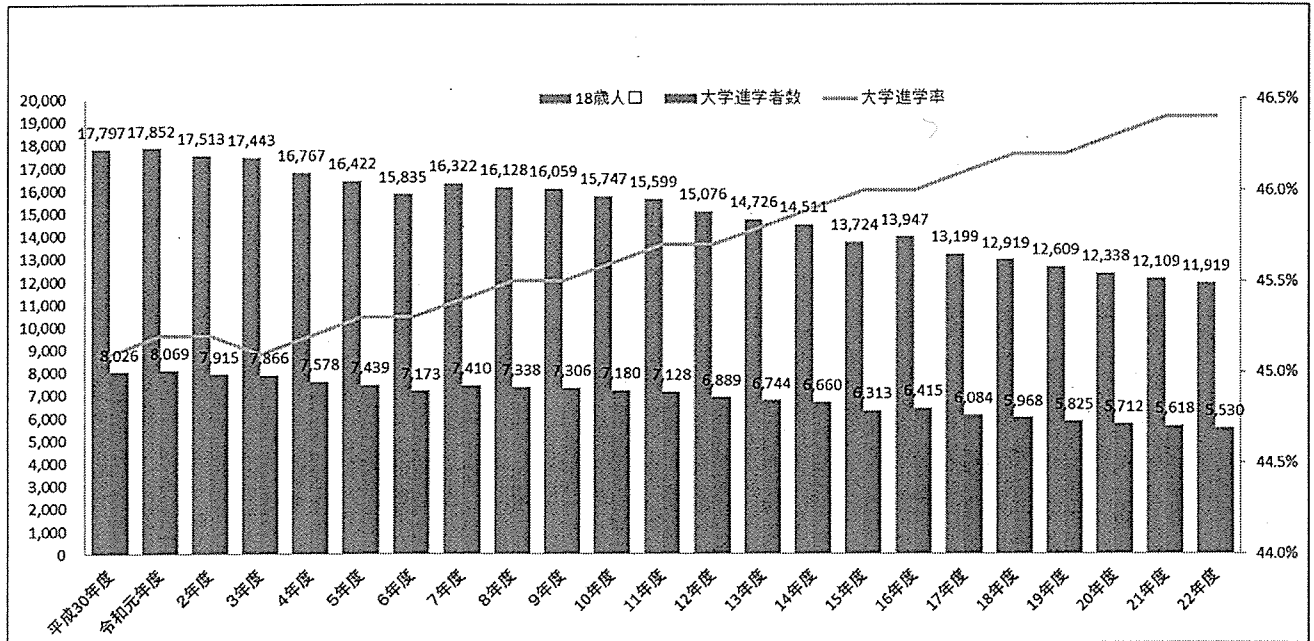
※「三重県から県外への通勤者」及び「県外から三重県への通勤者」が1,000人以上のものについて図示。
 ※矢印が太いほど、通勤者数が多い。
 ※数字横の（ ）内は平成22年からの増減を表示
 ※「平成27年国勢調査」から、三重県戦略企画部統計課作成

大学進学率は高まっていますが、18歳人口が減少していくことから、大学進学者数は令和2年度に5,530人まで減少します。

2 三重県の「進学」シーンにおける現状

(1) 三重県における18歳人口の将来推計

18歳人口は令和2年度以降減少していくのに対し、大学進学率は高まっています。



出典：①平成30年～令和11年…文部科学省「学校基本調査」を元に推計、

②令和12年～17年…厚生労働省「人口動態統計」の出生数に生存率を乗じて推計、

③令和18年～22年…国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）（出生中位・死亡中位）」を元に作成（令和17年の都道府県比率で案分）、大学進学率の推計については、平成30年2月21日中教審将来構想部会の文部科学省提出資料より引用。

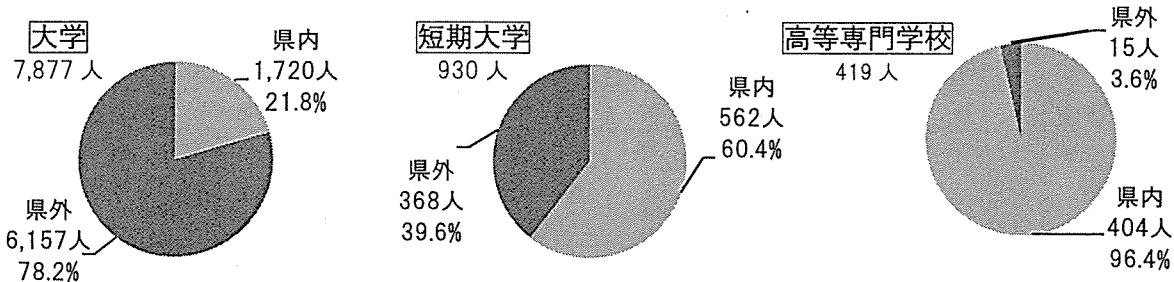
(2) 三重県の高等教育機関の入学定員（平成31年4月）及び進学者収容力（平成30年度）

	入学定員 (単位：人)	進学者収容力
大学	三重大学（津市）	$(3,120/7,877) \times 100 = 39.6$
	三重県立看護大学（津市）	
	四日市大学（四日市市）	
	四日市看護医療大学（四日市市）	
	鈴鹿医療科学大学（鈴鹿市）	
	鈴鹿大学（鈴鹿市）	
	皇學館大学（伊勢市）	
大学計	3,110	
短期大学	三重短期大学（津市）	$(840/930) \times 100 = 90.3$
	ユマニテク短期大学（四日市市）	
	鈴鹿大学短期大学部（鈴鹿市）	
	高田短期大学（津市）	
	短期大学計	
高等専門学校	鈴鹿工業高等専門学校（鈴鹿市）	$(480/419) \times 100 = 114.6$
	鳥羽商船高等専門学校（鳥羽市）	
	近畿大学工業高等専門学校（名張市）	
	高等専門学校計	
合計	4,430	

進学者収容力 = [定員/進学者数（過年度卒業生を含む）] × 100

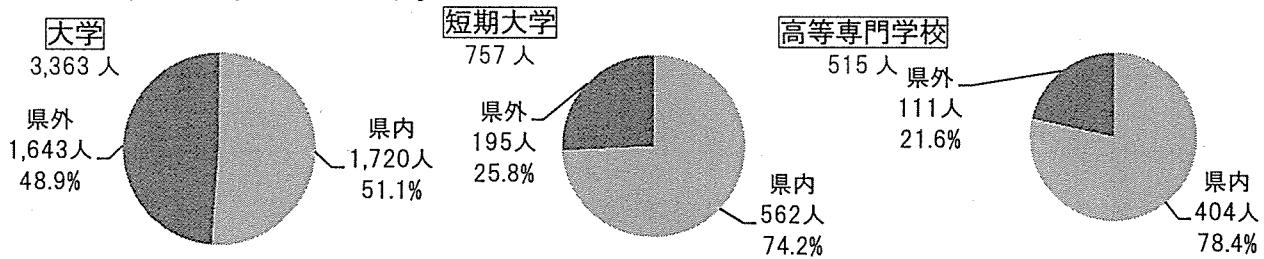
(3) 県内高等学校卒業生の大学、短期大学、高等専門学校への進学状況

- 平成 30 年 4 月に大学及び短期大学に進学した県内高等学校卒業生のうち、県内に進学した者の割合はそれぞれ 21.8%、60.4%となっています。
- 平成 30 年 4 月に高等専門学校に進学した県内中学校卒業生のうち、県内に進学した者の割合は 96.4%となっています。



(4) 県内高等教育機関の県内外の出身者割合

- 平成 30 年 4 月に県内の大学及び短期大学に入学した学生のうち、県内高等教育学校出身者の割合はそれぞれ 51.1%、74.2%となっています。
- 平成 30 年 4 月に高等専門学校に入学した学生のうち、県内中学校出身者の割合は 78.4%となっています。



※文部科学省「平成 30 年度学校基本調査」から作成

(5) 大学に進学した県内高等学校卒業生の地域別進学先

進学先では、愛知県が約 4 割、東京圏が 1 割、関西圏が約 2 割となっており、この割合は毎年大きな変動はありません。

	全体	三重県	県外	県外		
				うち愛知県	うち東京圏	うち近畿圏
30 年	7,877	1,720	6,157	2,973	711	1,524
	-	21.8%	78.2%	37.7%	9.0%	19.3%
29 年	8,299	1,704	6,595	3,207	826	1,634
	-	20.5%	79.5%	38.6%	10.0%	19.7%
28 年	7,969	1,618	6,351	3,082	773	1,611
	-	20.3%	79.7%	38.7%	9.7%	20.2%
27 年	8,076	1,718	6,358	3,053	748	1,658
	-	21.3%	78.7%	37.8%	9.3%	20.5%
26 年	8,214	1,661	6,553	3,192	839	1,655
	-	20.2%	79.8%	38.9%	10.2%	20.1%

県内への進学者の割合は 2 割であるが、数は増加している。

※文部科学省「学校基本調査」を基に三重県戦略企画部戦略企画総務課作成

※東京圏：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県 関西圏：京都府、大阪府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県

※割合は、県内高等学校卒業生全体に対する割合を示す。

(6) 県立高等学校卒業生の進学先学部と三重県内高等教育機関入学定員との比較

(単位：人)

(単位：人)

学部・学科	県立高等学校卒業生の進学先学部		三重県内高等教育機関の入学定員（平成31年度）	
	H30年 4月入学	H31年 4月入学		
文学	731	721	522	92(三重大学人文学部)、120(鈴鹿大学国際人間学部)、310(皇學館大学文学部)
政治・法律	272	280	207	77(三重大学人文学部)、130(四日市大学総合政策学部)
経済・商学	692	637	76	76(三重大学人文学部)
教育	422	397	460	200(三重大学教育学部)、50(鈴鹿大学こども教育学部)、210(皇學館大学教育学部)
理学	120	130		
工学	909	908	430	400(三重大学工学部)、30(鈴鹿医療科学大学応用工学部応用情報工学科)
医学	22	41	125	125(三重大学医学部医学科)
看護	253	293	360	80(三重大学医学部看護学科)、100(三重県立看護大学)、100(四日市看護医療大学)、80(鈴鹿医療科学大学)
薬学	76	83	100	100(鈴鹿医療科学大学薬学部)
農林・畜産	185	157	260	260(三重大学生物資源学部)
社会	464	474	100	100(皇學館大学現代日本社会学部)
家政	172	180		
芸術	154	116		
体育	119	144		
その他	283	318	470	70(四日市大学環境情報学部)、360(鈴鹿医療科学大学保健衛生学部)、40(鈴鹿医療科学大学応用工学部臨床工学科)
合計	4,874	4,879	3,110	

(7) 県内進学率の推移

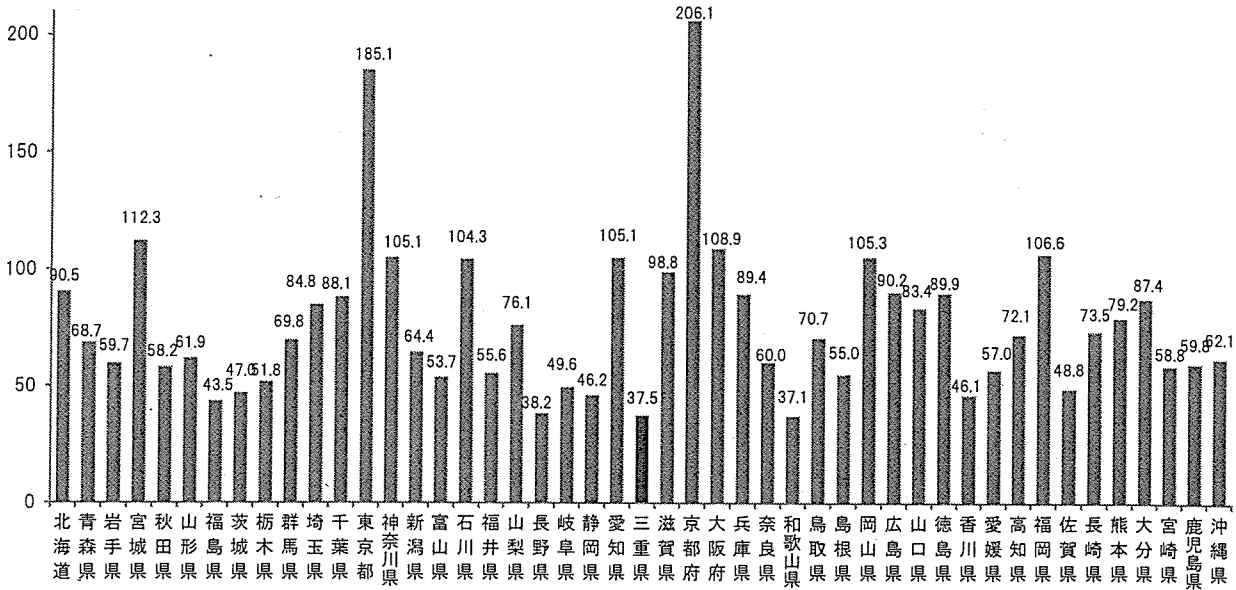
(単位：人)

	H27.4入学	H28.4入学	H29.4入学	H30.4入学	H31.4入学
県内高等教育機関への県内からの入学者数(A)	2,677	2,629	2,649	2,703	2,665
増加数(27年度を起点)	0	▲48	▲28	26	▲12
県内高等教育機関への入学者数(B)	4,534	4,492	4,570	4,634	4,583
増加数(27年度を起点)	0	▲42	36	100	49
県内入学率((A/B)×100)	59.04%	58.53%	57.96%	58.33%	58.15%

県内入学率は、おおむね横ばいです。

(8) 都道府県別大学進学者収容力 (平成 29 年度)

大学進学する高等学校卒業生に対して、都道府県にどの程度の大学入学定員があるのかを示す「大学進学者収容力」について、平成 29 年度の本県の大学進学者収容力は 37.5 でした。これは、県内で大学進学者(8,299 人)に対して、県内大学の入学定員数(3,110 人)が 4 割弱であることを示しており、全国最低水準となっています。



大学進学者収容力 = 大学入学定員 / 大学進学者数 (過年度卒業生を含む) × 100
 ※文部科学省「学校基本調査」を基に三重県戦略企画部戦略企画総務課作成

(9) 県内高校生の専攻したい学問分野 (複数回答)

専門分野	回答者数	県内高等教育機関の学部
教育学系統	1,310	三重大学教育学部/皇學館大学教育学部
工学系統	965	三重大学工学部/鈴鹿工業高等専門学校/鳥羽商船高等専門学校/近畿大学工業高等専門学校
医学・看護学系統	912	三重大学医学部(医学科・看護学科)/三重県立看護大学看護学部/鈴鹿医療科学大学(保健衛生学部)(医用工学部)(薬学部)(看護学部)/四日市看護医療大学(看護学部)
経済・経営学系統	839	三重大学人文学部(法律経済学科)/皇學館大学現代日本社会学部/四日市大学環境情報学部/四日市大学総合政策学部/三重短期大学法経科
人文学系統	796	三重大学人文学部(文化学科)/皇學館大学文学部
外国語学部系統	606	
理学系統	569	
生活科学・福祉系統	541	鈴鹿大学(こども教育学部)/三重短期大学生活科学科/高田短期大学(子ども学科)(キャリア育成学科)/鈴鹿大学短期大学部(生活コミュニケーション学科)/ユマニテク短期大学(幼児保育学科)
芸術学系統	330	
法学系統	324	三重大学人文学部(法律経済学科)
農林水産学系統	308	三重大学生物資源学部
体育学系統	296	
その他	359	鈴鹿大学国際人間科学部

外国語学部系統、理学系統、芸術学系統、体育学系統は、県内に学部がありません。

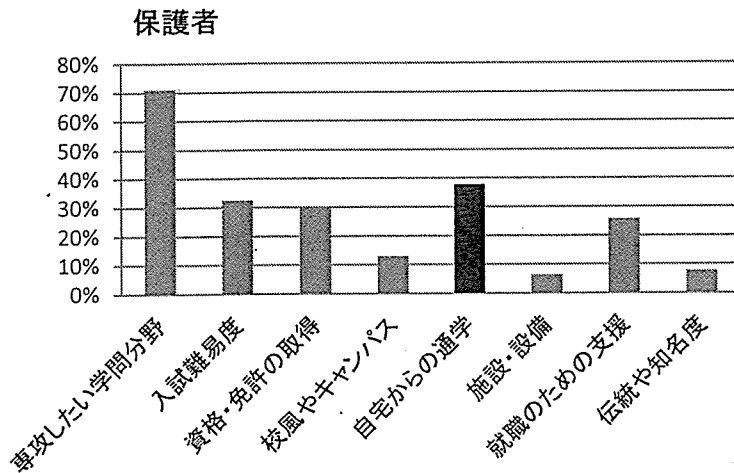
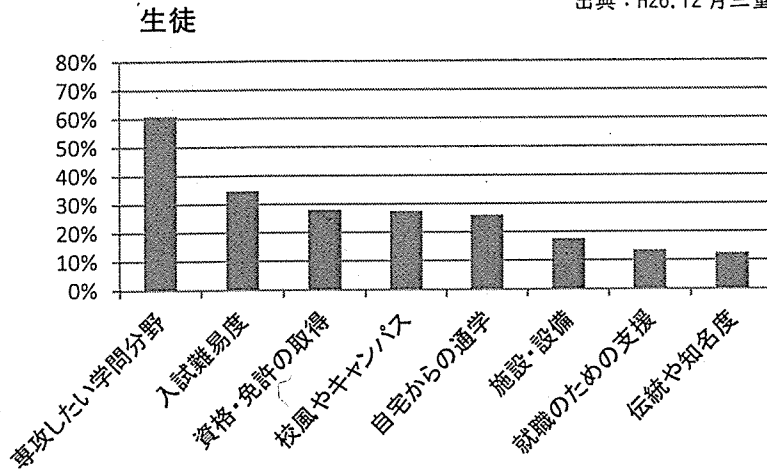
出典：H27.8 月三重県実施「高校生・保護者アンケート」

(10) 進学先を決める際の意識

進学先を決める際の相談相手は保護者（特に母親）が多く、保護者は「自宅から通える」ことも重視しています。

●進学先を決める際、何を重視するのか？（複数回答）

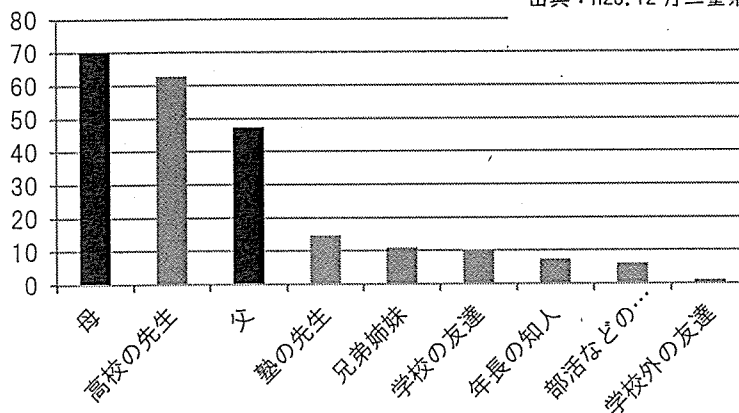
出典：H26.12月三重県実施「高校生・保護者アンケート」



生徒と保護者が大きく違うのは、「自宅からの通学」

●進学先を決める際、誰の意見を重視するのか？（複数回答）

出典：H26.12月三重県実施「高校生・保護者アンケート」



父母、高校の先生の意見を重視しています。

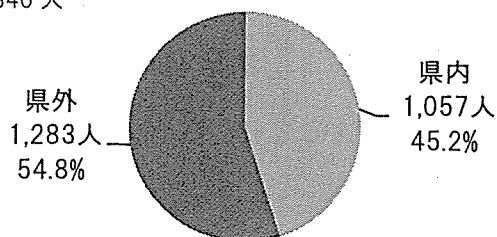
3 三重県の「就職」シーンにおける現状

(1) 県内高等教育機関及び高等学校卒業生の就職状況

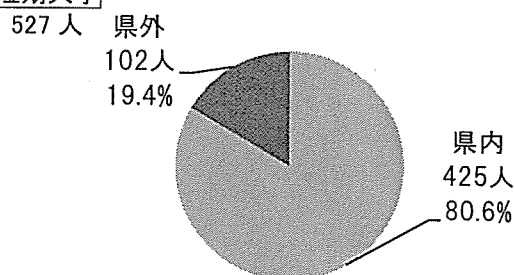
高校生の就職先については、県内 86.0%、県外 14.0%となっており、県外のうち愛知県の割合が最も大きいです。

※高等教育機関については、平成 31 年 3 月に卒業した学生
 ※高等学校については、平成 30 年 3 月に卒業した生徒を記載

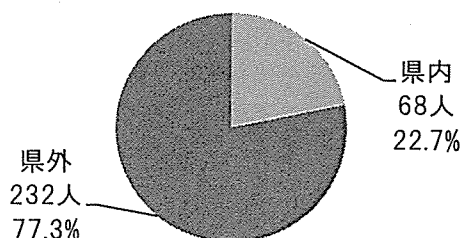
大学
2,340 人



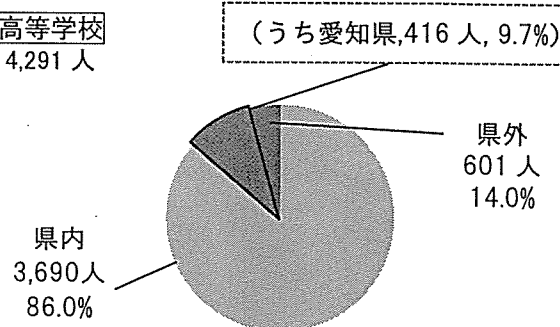
短期大学



高等専門学校
300 人



高等学校
4,291 人



出典：大学、短期大学、高等専門学校は三重県調べ
 高等学校は、文部科学省「平成 30 年度学校基本調査（速報）」から作成

(2) 県内就職率の推移

		平成27年度 H28. 3 卒業	28年度 H29. 3 卒業	29年度 H30. 3 卒業	30年度 H31. 3 卒業
実績値		48.9%	48.8%	48.9%	48.9%
県内就職者数/就職者数		1,475/3,014	1,506/3,085	1,551/3,175	1,550/3,167
内 訳	大 学	44.7%	45.4%	44.9%	45.2%
	県内就職者数/就職者数	982/2,195	997/2,198	1,017/2,263	1,057/2,340
	短期大学	83.3%	83.5%	83.5%	80.6%
	県内就職者数/就職者数	430/516	436/522	454/544	425/527
	高等専門学校	20.8%	20.0%	21.7%	22.7%
県内就職者数/就職者数	63/303	73/365	80/368	68/300	

県内就職率は横ばいであるが、県内就職者数は増加しています。

(3) 就職先を決める際の意識

就職において重視する項目は、「働きやすさ」が1位となっています。また、就職先を決める際の相談相手は高校生、高等教育機関学生ともに保護者（特に母親）や先生が多くなっています。

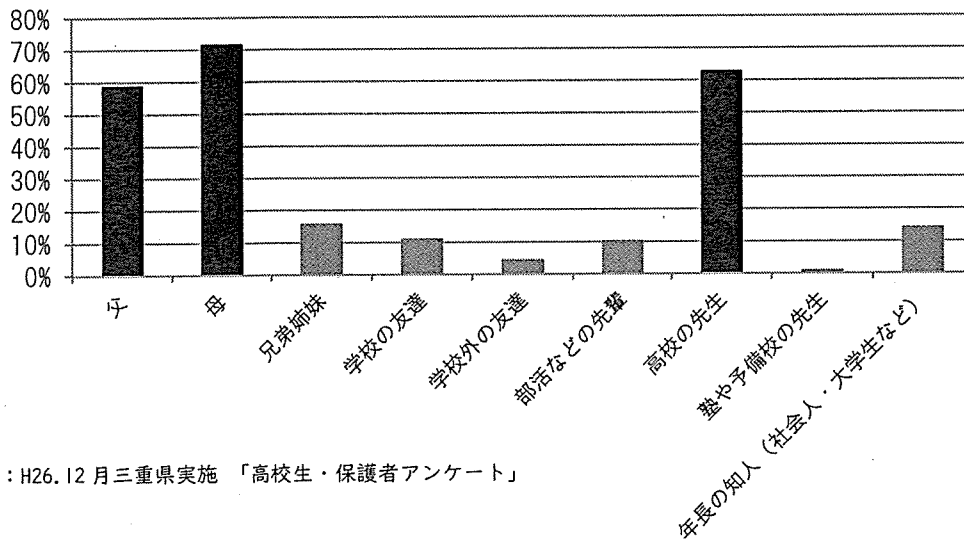
●就職で重視する条件は何ですか？（複数回答）

（単位：％）

	回答 (人)	働き やすさ	やり がい	産休・ 育児休 暇制度	育児休 暇後の 職場復 帰支援	給料	待遇 及び福 利厚生	勤務地	企業の 将来性	業種・ 職種	
全体	10,723	71.7	54.5	30.7	20.1	60.6	32.7	34.7	21.5	33.5	
所 属	大学	8,714	72.0	54.7	30.7	20.2	61.0	32.3	35.2	20.6	33.2
	短期大学	1,100	75.9	56.8	42.9	26.6	62.5	31.5	35.3	16.5	31.5
	高等専門学校	909	64.5	50.2	16.1	11.1	54.7	38.3	29.0	36.0	38.1
性 別	男性	5,434	65.8	52.3	12.3	7.9	56.0	28.1	29.7	24.5	31.1
	女性	5,142	79.0	57.6	50.7	33.2	66.1	38.0	40.5	18.6	36.3
	どちらでもない	77	49.4	37.7	19.5	14.3	46.8	32.5	23.4	13.0	28.6

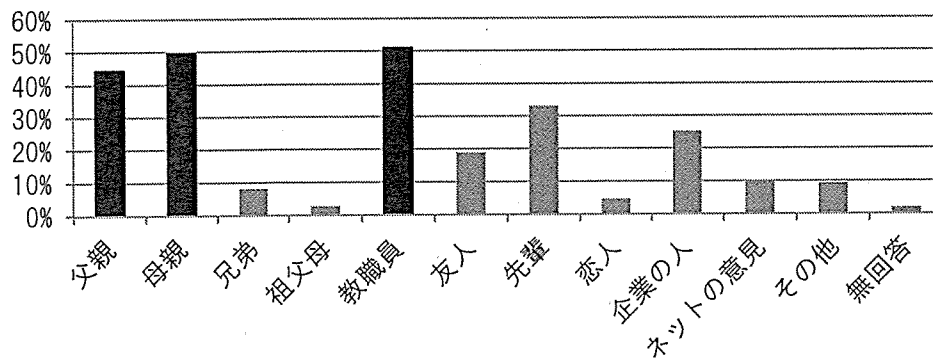
※H29 三重県実施 「結婚・出産・子育て、仕事に関するアンケート」から作成

●【高校生】就職先を決める際、誰の意見を重視するのか？（複数回答）



出典：H26.12月三重県実施 「高校生・保護者アンケート」

●【高等教育機関学生】就職先を決める際、誰の意見を参考にするのか？（複数回答）



父母、先生の意見を重視しています。

出典：H28.9～10月コンソーシアムみえ実施の「県内就職と地域活動に関する意識調査アンケート」